

フランス語圏の事業承継研究者による専門書2冊について

亀井 克之

(関西大学 社会安全学部)

はじめに

フランス語圏の事業承継研究は、アメリカにおける研究とは一線を画し、独自性を発揮してきた。フランスならびにカナダのケベックでは、21世紀初頭から中小企業研究やアントレプレナーシップ研究の一分野として事業承継の学術的研究が確立されてきた経緯がある。その特徴は、アメリカの研究がファミリービジネス内の事象を中心とする傾向があるのに対して、従業員や第三者による承継も含めた「承継・買収」の各プロセスにおける譲渡者と後継者の関係性に注目してきた点にある。(Deschamps, 2021, p.7)

フランスの事業承継研究については、『事業承継』Vol.2 (2013年)に発表した研究ノート「フランスにおける中小企業の事業承継研究」で紹介した。この研究ノートで取り上げたグルノーブル大学のベランジェール・デシャン (Bérangère Deschamps) 教授が、パリ第一大学 IAE のディエ・シャボー (Didier Chabaud) 教授と一緒に発起人になって、2017年1月に研究グループ BeT (Business Transfer and Entrepreneurship) を結成した。

BeT のメンバーを中心にフランス語圏の事業承継研究者による専門書が2020年から2021年にかけて2冊刊行された。本稿では、この2冊を紹介する。

1. *Transmission-reprise d'entreprise 11 études de cas* (『事業の継承と承継 11の事例研究』)

Audrey Missonier, Catherine Thévenard-Puthod 編著, éditions ems, Management & Société, Collection études de cas (ems 出版, 経営と社会, 事例研究シリーズ) 2020年3月

フランス語の書籍である。本書は経営学のテキストとして定評のある ems 出版の事例研究シリーズの1冊として刊行された。編者は、モンペリエ・ビジネススクールのオードリー・ミソニエ (Audrey Missonier) 准教授とサボワ・アルプ大学のカトリーヌ・テブナール＝プト (Catherine Thévenard-Puthod) 教授である。この2人は2020年から、創立者のデシャン教授とシャボー教授からバトンを渡され、現在、研究グループ BeT の共同代表を務めている。

本書では、各章で取り上げられた事例と、それに対する設問と解説を通じて、フランスにおける事業承継研究のこの10年間における論点が把握できる。編者は本書の目的として3点を挙げている。①事業継承・事業承継の多様な形態を示すこと、②事業継承・事業承継の各プロセスと、様々な利害関係者による意思決定事項に対する学際的なアプローチを示すこと、③事業承継・継承の当事者、利害関係者、研究者、学生に、各自の抱く問題点解決の糸口を示すことである。(Missonier, et Thévenard-Puthod, 2020, pp.9-10)

序論の後、本書は4部に分かれる。第1部「事業承継の準備」では、3つの事例が収められてい

る。第2部「譲渡者と後継者の関係を良好に保ち事業承継を成功に導く」では、3つの事例が取り上げられている。第3部は「新たなステークホルダーによる事業承継」で、女性による事業承継や倒産危機にある企業の承継など3つの事例が分析紹介されている。第4部は「文化的特殊性と事業承継」で、セネガルの事例と日本の事例の2つが取り上げられている。日本の事例は気仙沼のオイカワデニムを取り上げたもので、上述したグルノーブル大学のベランジェール・デシャン教授と筆者が共同執筆した。本書の特徴は、現実の11の事例について、事業承継のプロセスの各段階について、学際的にアプローチして分析・提言しているところにある。執筆者はのべ18人である。

2. *Business Transfers, Family Firms and Entrepreneurship* (『事業承継, ファミリー企業そしてアントレプレナーシップ』)

Bérangère Deschamps, Audrey Missonier, Catherine Thévenard-Puthod, Paulette Robic and Dominique Barbelivien 編著 Routledge, *Routledge Studies in Entrepreneurship and Small Business*, edited by Robert Blackburn, 20. (リバプール大学, ロバート・ブラックバーン教授編, ルートレッジ・アントレプレナーシップと中小企業研究叢書シリーズ第20巻), 2021年1月

本書は5人の編者の中でも、特にベランジェール・デシャン教授が中心となって編集された英語による書物である。フランス語圏における事業承継研究は、独自性を発揮しながらも、研究成果がフランス語によるものであったため、世界的にはベールに包まれているところがあった。今回、英語による書物が刊行されたことによって、世界の学界で広くフランスの事業承継研究の内容が理解

されることになる。本書の大きな意義である。

本書の構成は以下の通りである。

PART I Definitions

1. Business Transfer: Historical Perspectives, Definitions and Transfer Process, Bérangère Deschamps
2. Revisiting the Entrepreneurial Exit Decision Process: A Decision-Making Model, Marie-Josée Drapeau and Maripier Tremblay

PART II Family Business Transfers

3. Emotions in Family Business Succession, Soumaya Sfeir
4. Family Business Transfer: A Stressful Event for Successors, Florence Guilianini and Luis Cisneros
5. The Making of Family Entrepreneurs: How Heirs Become Entrepreneurs and Take Over a Family Business, Paulette Robic, Dominique Barbelivien and Nicolas Antheaume
6. Succession and Family Business in Between Emotional and Financial Issue: The Role of a Governance With a Two-Tier System, Céline Barrédy
7. Succession and Strategic Renewal in Family Firms: Insights From a French Family Firm, Didier Chabaud, Mariem Hannachi and Hedi Yezza

Part III Internal Business Transfer to Employees

8. Toward a Better Understanding of SME Employee Buyouts, Catherine Thévenard-Puthod and Cédric Favre
9. Is a Workers' Cooperative an Effective Means for Transferring SMEs?

Marie-Christine Barbot-Grizzo

Part IV External Business Transfers

10. A Research Framework for External Business Transfers of SMEs,

Bérangère Deschamps and Susanne Durst

11. The Legitimacy of the External Buyers: Issues and Means of Acquisitions,

Lyès Mazari, Sandrine Berger-Douce and Bérangère Deschamps

12. From Outsider to Insider: Organisational Socialisation in Takeover Situations,

Sonia Boussaguet

13. How to Effectively Support External Buyers in a Post-Business Transfer Situations,

Catherine Thévenard-Puthod

Part V Women in Business Transfers

14. Family as an Institution to Investigate the Role of Women in the Transfer of Family Business,

Paulette Robic

15. Gender and Succession in the Family Business,

Christina Constantinidis

16. Daughters: Invisible Heroes of Family Businesses?

Audrey Missonier, Annabelle Jaouen and Béatrice Albert

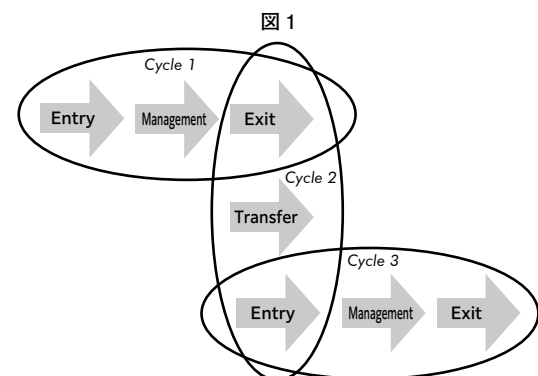
17. Female External Successors: Difficulties During the Business Transfer Process and Types of Support Required,

Bérangère Deschamps and Catherine Thévenard-Puthod

本書の特徴は、①事業承継の定義づけをした上で、ファミリービジネスにおける親族間承継、従業員による承継、第三者による承継まで、あらゆる

るタイプの事業承継を取り扱っていること、②事業承継のプロセスごとに、譲渡者と継承者のあり方を追求していること、③アントレプレナーシップという視点が軸に据えられていること、④第4部の4つの章において、フランス事業承継研究の一大特徴である「外部の第三者による承継」に力点が置かれていること、⑤第5部の4つの章において、女性に焦点が当てられていること、⑥新たな視点として、第4章に見るように、事業承継の当事者における「ストレス」に焦点を当てた研究を盛り込んでいることなどにある。

第1章「事業承継 歴史的視点、定義と承継プロセス」(Business Transfer: Historical Perspectives, Definitions and Transfer Process)を執筆したベランジェール・デシャン教授は、下図のような、事業承継プロセスに関する新たなモデルを打ち出している。これは各プロセスで、譲渡者の退出一承継—後継者の加入が行われ、これがサイクルとして続いていくという視点である。



出典：Deschamps, 2021, p.16

結語

2020年から2021年にかけてフランスの研究グループ BeT が中心となって刊行された2冊の事業承継の書物から、フランス語圏の事業承継研究の現状について以下の点が指摘できる。

(1) フランスにおける事業承継の指導的研究者は

ベランジェール・デシャン教授である。デシャン教授が博士論文で取り上げて以来、「外部の第三者による承継」研究は、フランスの事業承継研究の特色の一つとなっている。

- (2) 後継者を起業家と捉えて、アントレプレナーシップという視点が据えられている。
- (3) 本稿で取り上げた2冊目の書物は、フランス語圏において、事業承継研究とファミリービジネス研究を同時に取り上げたという意味で画期的である。これまで、フランス語圏においては、中小企業の事業承継に関する研究と、ファミリービジネスに関する研究は、分離している傾向にあった。
- (4) 事業承継が当事者の心身の健康に与えるインパクト、特にストレスに焦点を当てた研究がある。
- (5) 2冊目の書物の編者5人全員が女性である。また、2冊目の執筆者24人の内、18人が女性である。このことから明白であるが、フランスの事業承継研究者は、女性が大多数を占める。それゆえ事業承継の当事者としての女性（経営者の妻・娘、外部の女性）に焦点を当てた研究が充実している。

なお、ケベックにおける事業承継研究の第一人者であるトロワ・リビエール大学のルーズ・カデュー（Louise Cadieux）教授に言及しておく。カデュー教授は本稿で取り上げた2冊に参画していない。その理由は明確ではないが、ケベックにおいて、事業承継の研究書を用意していたためではないかと推測する。カデュー教授は、デシャン教授との共編著 *Le Duo Cédant Repreneur, Presses de l' Université du Québec*, 2011（『譲渡者と承継者のコンビー中小企業における事業の継承／承継プロセスの包括的な理解に向けてー』）を2011年に発表している。本稿で示した2冊は、このカデュー教授とデシャン教授の共編著の流れを汲んでいる。

フランス語圏の事業承継研究は、今回、英語による書籍が出版されたこともあり、今後、日本の学界にも広く示唆を与えるのではないかと考える。